

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日実施 小学校第6学年対象

1 調査について

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査内容

- 教科に関する調査(国語、算数、理科)
 - ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等
- 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
 - ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

2 学校全体としての結果の概要

(1) 教科に関する調査

- 国語
 - ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができています。
 - ・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける力が伸びてきていますが、課題も見られます。目的や意図に応じて必要な情報を見付けたり、その情報を適切に活用したりする学習活動を行っていきます。
 - ・「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題が見られました。また、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られました。目的や意図に応じた内容を吟味したり、発言者の意図を考えたりすることを学習活動の中で意識できるようにしていきます。また、相手の考えと自分の考えとを比較し、共通点や相違点を整理して自分の考えを深め、まとめていく学習活動を行っていきます。
- 算数
 - ・「図形」において、平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができています。また、角の大きさについて理解することができています。
 - ・「図形」において、台形の意味や性質についての理解に課題が見られました。また、基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述することにおいても課題が見られました。様々な形の台形について確認し、作図することで理解を深められるようにします。また、図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方の手順を丁寧に確認したり、説明し合ったりする学習活動を継続していきます。

○ 理科

- ・「地球を柱とする領域」では、赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができています。
- ・「エネルギーを柱とする領域」では、電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いています。
- ・「生命を柱とする領域」では、ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いています。
- ・「エネルギーを柱とする領域」では、身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識や電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することに課題が見られました。金属の性質と鉄の性質について丁寧に確認し、学んだ知識を定着できるようにします。また、電気の回路を作る実験をし、方法について説明をしたり、記述したりする学習活動を行っていきます。
- ・「粒子を柱とする領域」、「地球を柱とする領域」に関する問題では、水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解することに課題が見られました。沸騰と蒸発の区別や水の気体と液体の違いなどについて、実験を通して分かったことを言語化し、仕組みを理解できるようにしていきます。

(2) 生活習慣等に関する質問調査

- ・「自分には、よいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」「学校に行くのは楽しい」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」等の項目に高まりが見られます。
- ・読書時間に課題があることが分かりました。今後も、読み聞かせや家読書を計画的に進めたり、図書委員会を中心とした活動の工夫を行ったりして、読書活動の充実に努めていきます。